

市川市多職種連携情報共有システム（バイタルリンク）について

資料 6 - 1

<説明会>

開催方法	対面開催、オンライン同時配信及び後日限定配信		
開催場所	市川市医師会館		
日 時	令和8年3月24日（火）		
	昼の部	13:30～14:30	
	夜の部	19:30～20:30	
参加者	昼の部	10事業所	12名
	夜の部	15事業所	17名
	オンライン同時配信	85名	
	オンライン後日限定配信（申込）	253名（R8.5月31日現在）	

<運用開始>

開始日 令和8年4月1日

1. 機能・メリット

主な機能

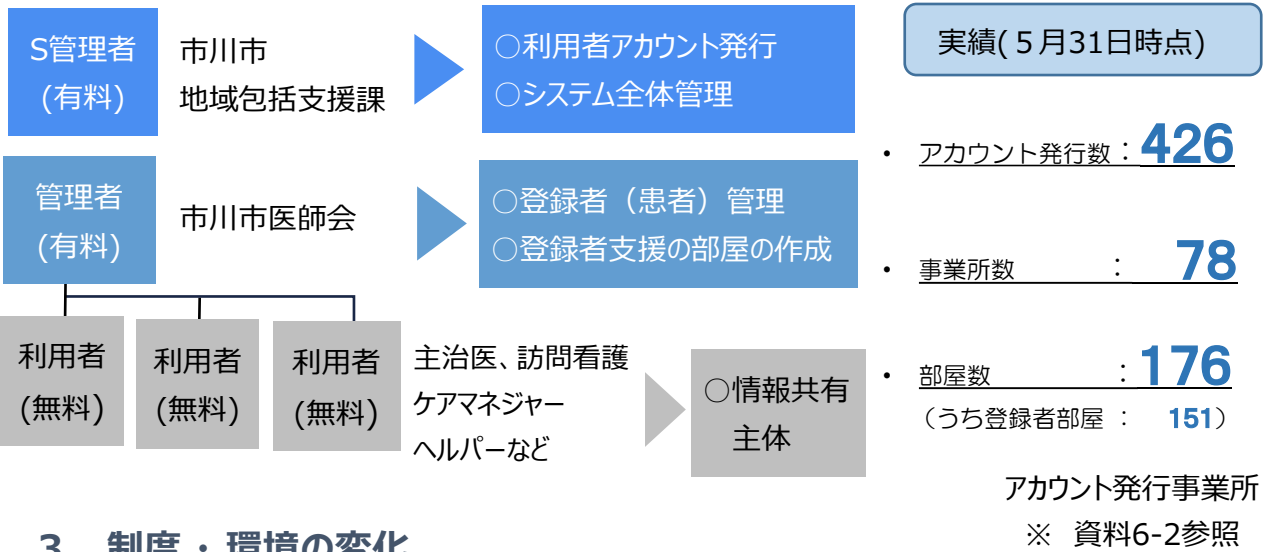
- 療養者ごとの情報共有（連絡帳機能）
- 写真、PDF等の資料共有
- バイタル情報の登録・グラフ化
- おくすり情報の共有
- カレンダーによる予定共有
- Web会議機能との連携

メリット

- 時間や場所を問わない情報共有
- 多職種間の連絡漏れや伝達遅延を防止
- 支援に必要な情報を一元管理
- バイタル等の経時的な変化を把握可能
- 医療・介護関係者の連携強化による在宅療養支援体制の充実
- 地域包括ケアシステムの推進
- ICTを活用した効率的な連携基盤の整備



2. 運用・管理体制（現状）



3. 制度・環境の変化

<令和6年度診療報酬改定>

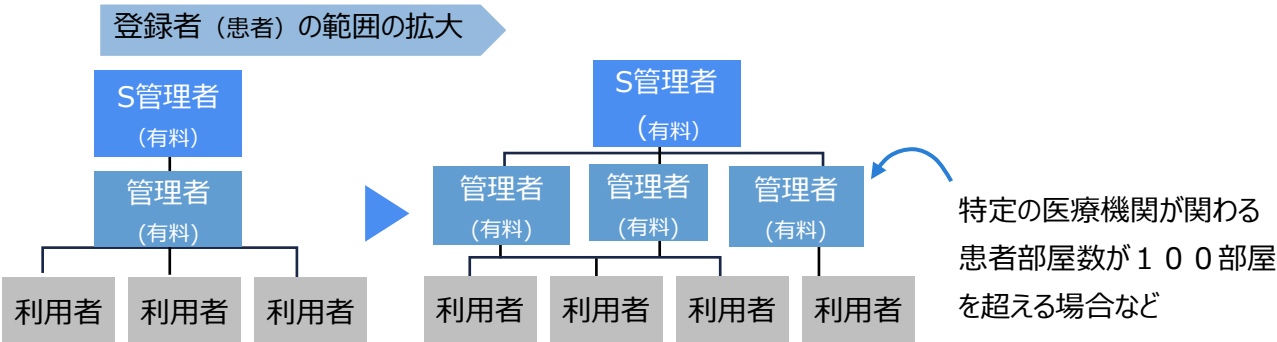
在宅医療情報連携加算（100点）の新設
※医療・ケアに関わる関係職種とのICTを活用した情報共有を評価

<令和8年度診療報酬改定>

ICT 連携を活用する医療機関・薬局の体制を評価方針

ICT活用の推進に伴い、利用者の増加が見込まれる。

4. 今後の展望



一定規模のシステム利用医療機関へ管理権限を付与。

- 情報セキュリティ管理体制の強化（マニュアル整備/体制図の取得等）

モバカルとの連携が可能 → 利便性の拡大

Web会議機能の活用 → 多職種での意見交換の場の拡大

同職種連携の場としての活用 → 他の機関に所属する同職種連携の拡大